

総合



概況

足元の景況感は上向きつつも、先行きに不安

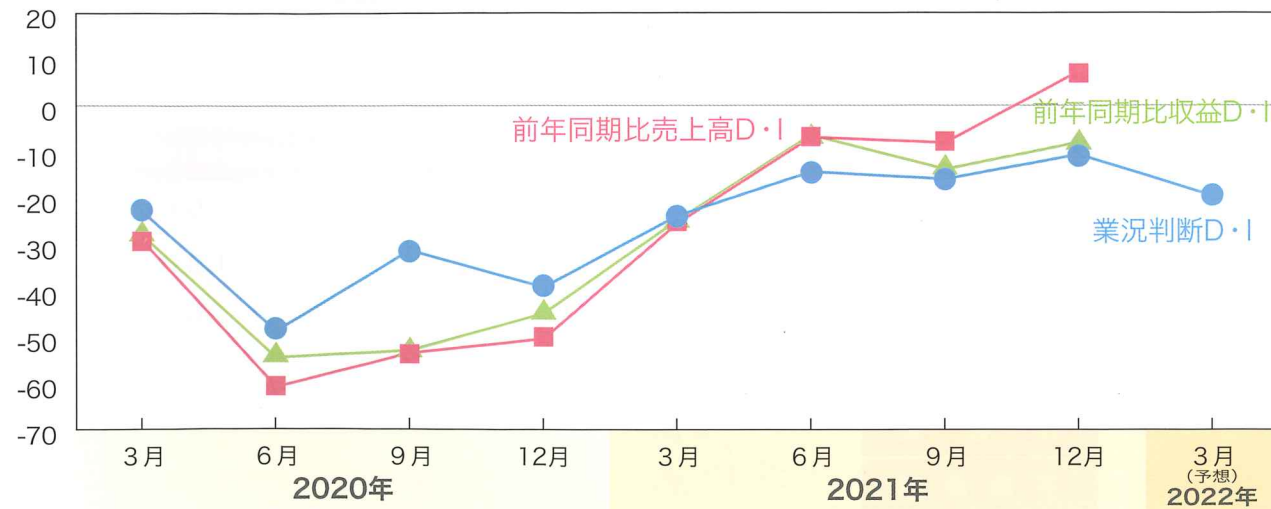
今期の業況判断指数(D・I値)は、△10.6と前期(7月～9月)より5.3ポイントの小幅改善となり、依然厳しい水準にあるものの、改善傾向がみられました。収益面では、前年同期比売上高D・Iが7.4と前期比15.4ポイント改善、また同収益D・Iも△8.0ながらも同5.8ポイント改善しました。

	前年同期	前期	今期	見通し
業況D・I	△39.2	△15.9	△10.6	△19.5
売上高D・I	△50.3	△8.0	7.4	-
収益D・I	△44.9	△13.8	△8.0	-

来期の見通しについて

来期の予想業況判断指数(D・I値)は△19.5、今期実績比8.9ポイントの悪化見通しです。業種別では、8業種中、小売業で小幅改善、サービス業で現状維持、残りの6業種で悪化の見通しです。

主要指標の推移



前期比D・Iの推移

○販売価格D・I

	前年同期	前期	今期	見通し
製造	△13.1	8.7	26.1	26.1
卸売	0.0	21.4	50.0	21.4
小売	5.5	5.5	25.5	14.5
サービス	6.7	3.3	6.7	3.3
建設	7.0	16.3	23.3	13.9
不動産	-	14.3	14.3	14.3
運輸	△11.8	5.9	76.5	41.1
農業	0.0	△14.8	25.9	△11.1

※サービス業は料金価格、建設業は請負価格、運輸業は料金単価、農業は販売単価。

○仕入価格D・I

	前年同期	前期	今期	見通し
製造	△8.7	34.8	56.5	52.2
卸売	0.0	50.0	57.1	35.7
小売	△1.9	16.4	52.7	34.5
サービス	10.0	10.0	40.0	36.7
建設	11.7	41.9	72.1	60.5
不動産	△14.3	14.3	14.3	14.3
運輸	0.0	47.0	△52.9	△23.5
農業	14.8	18.5	37.0	11.1

※製造業は原材料価格、サービス業・建設業は材料価格、運輸業は燃料価格、農業は生産資材等価格。

○人手過不足D・I

	前年同期	前期	今期	見通し
製造	△30.4	△39.2	△43.5	△34.8
卸売	△21.4	△28.6	△28.6	△21.4
小売	△16.4	△25.5	△20.0	△18.2
サービス	△33.3	△16.7	△10.0	△10.0
建設	△37.2	△39.5	△27.9	△23.3
不動産	0.0	-	△14.3	△14.3
運輸	△52.9	△52.9	△47.1	△52.9
農業	-	-	-	-

○残業時間D・I

	前年同期	前期	今期	見通し
製造	△4.3	△13.1	△4.4	△4.3
卸売	△28.6	14.3	7.1	-
小売	△21.8	△9.1	0.0	△1.8
サービス	△16.7	△6.7	△3.3	△3.3
建設	△7.0	11.6	△2.4	△4.6
不動産	-	△14.3	-	-
運輸	△11.7	5.9	△5.9	0.0
農業	-	-	-	-

○借入金の動き・難易度

	借入金の実施		民間金融機関からの借入難易度			
	した	ある	容易	変わらない	難しい	該当なし
製造	-	4.3	17.4	56.5	8.7	17.4
卸売	7.1	7.1	35.7	64.3	-	-
小売	20.0	12.7	7.3	69.1	7.3	16.3
サービス	13.3	-	6.7	73.3	3.3	16.7
建設	18.6	9.3	34.9	55.8	4.7	4.6
不動産	28.6	-	-	85.7	-	14.3
運輸	17.6	17.6	11.8	70.6	5.9	11.7

○設備投資の動き

	前年同期	前期	今期	実施予定
製造	17.4	26.1	21.7	17.4
卸売	7.4	7.1	7.1	14.3
小売	10.9	9.1	12.7	7.3
サービス	20.0	6.7	16.7	6.7
建設	4.7	4.7	14.0	11.6
不動産	-	-	-	-
運輸	23.5	11.8	5.9	23.5
農業	11.1	11.1	3.7	3.7

2021年10月～12月期 設備投資



今後3ヶ月以内 設備投資計画

